

## 【社会貢献活動】

近隣の学校における健康教育、老人ホームでのレクリエーションなどの働きで、学生の自主的な奉仕団体である「ボランティアサークル葡萄」が活躍して喜ばれています。ホームレスの方々の社会復帰を支援する「抱撲館」での健康チェックや健康相談を行ったり、夜回り会で「おにぎり」を配る活動にも参加しています。

## 【大学間連携】

九州・沖縄の看護系大学等 13 大学で構成する「ケアリング・アイランド九州沖縄コンソーシアム」のメンバーとして、メンバー校が共通に抱える課題の解決を目指し、大学教育充実のための戦略的大学連携支援プログラムに取り組んでいます。

## 【官学連携】

本学は、地元福岡県古賀市との間に包括的な連携協定を締結し、地域連携を強化しています。

夏期と秋期に古賀市の後援を得て公開講座を開催します。古賀市主催の「健康福祉まつり」に毎年参画し、健康測定会を実施するなど、古賀市と連携して市民の健康教育を推進しています。

「高校生の健康づくりプロジェクト」では、地元の公立学校、古賀市と連携し、高校生を対象に、本学教員と学生が研究成果をもとに健康教育を行っています。高校生の健康状態や健康管理の状況を明らかにし、高校生の生活習慣病予防を目指した地域保健と学校保健の協働による健康づくりのシステム構築を目的としています。また、高校生が自らの健康に関心を持ち、健康管理行動を実践できるような保健指導プログラムを実践しています。具体的には、身体計測(身長、体重、体脂肪率、骨量面積等)、調査(健康管理活動、生活習慣)、健康学習会(身体計測・調査結果のフィードバック)から構成されます。

大学図書館を市民に開放し、図書利用の便宜を図っている。また、古賀市は開学から 5 年間、事務職員の人的支援及び図書館資料費への経済的支援を行なった。

### (公開講座)

	講演内容	講師
2008 年度	「地域をささえる看護」	学部長 松岡 緑
	「親の心、子どもの心」	教授 篠原 忍
2009 年度	「ライフサイクルからみた高齢者の特徴と理解」	学部長 松岡 緑
	「骨粗しょう症予防のためのセルフケア」	教授 松尾 和枝
2010 年度	「アレルギーの最新医療」	副学長 西間 三馨
	「出産後のメンタルヘルス」	准教授 福澤 雪子
2011 年度	「高齢者の健康と自立」	学部長 松岡 緑
	「災害時等のメンタルヘルス」	教授 山崎 不二子
2012 年度	「生命科学への招待」	名誉院長 徳永 徹
	「笑い与健康…皆様一緒に笑ってみませんか！」	准教授 穴井 めぐみ
2013 年度	「聴こえていますか？子どもの声 ～思春期の子どもとの対話～」	講師 奥野 由美子
	「健やかな毎日を過ごすためには ～生きがいとボランティア活動～」	教授 窪田 恵子
2014 年度	「子育て再考 ～今一度考えたい家族のかたち～」	講師 椎葉 美千代
	「環境とアレルギー」	学長 西間 三馨

※ 講師役職は、開催年度時点での役職名

### (古賀市民の図書館利用状況)

	利用者数
2008 年度	66
2009 年度	91
2010 年度	78
2011 年度	69
2012 年度	42
2013 年度	34